

横浜市アマチュア無線非常通信協力会

旭区支部だより

不定期発行

明けましておめでとうございます。

昨年は会員各位のご尽力により、旭区支部として素晴らしい活動をする事が出来ました。

集計したところ、延べ29箇所の防災訓練に、延べ126人の会員が参加しました。

参加した会員数は56人で全会員(105人)の半数強となっています。

活動を通じて示された皆様のボランティア精神に敬意を表します。地域の方々、行政から感謝の言葉を頂きました。

本年度中に、今後12箇所の防災訓練参加を要請されています。事情の許す方は参加をお願いします。

今年は「新たな展開」が期待される年になると思います。

34拠点にクラブ局設置が完了しました。横浜市・防災拠点要領で、防災拠点は「地域の情報拠点」(災害時)でもあることが明示されました。今後、拠点毎の実情に即した体制作りが進むと予測されます。

拠点運営委員会と拠点担当会員は今まで以上の連携が重要になると思います。

災害発生時に、行政がカバーしきれない領域(特別避難所、災害弱者施設・・・)について、必要な情報収集・伝達をアマチュア無線がサポートしてくれるとありがたい、との話を受けています。

昨年末に「旭区災害ボランティア連絡会」が発足しました。災害発生時に「災害ボランティアセンター」を設置し運用します。

地域の要請を把握して、外部ボランティアを受け入れ、必要な場所への派遣を行います。アマチュア無線ボランティアとの連携を期待されています。

CQ誌12月号(170ページ)に「チリ鉱山落盤事故(全員救出)で、チリのハム活躍」の記事がありました。

通信網が発達した現在でも、世界の大災害現場ではアマチュア無線ボランティアが活躍しています。

昨年、「非常時におけるアマチュア局の運用規制の緩和に関する告示改正案に係る意見募集」(パブリックコメント)が行われました。現在、ゲストオペレータ制度(免許人の立会い必要)がありますが、非常時には免許人の立会いを不要(社団局)とする法改正案です。国として、非常時のアマチュア無線ボランティア活動をしやすくし、促すための法改正案だと思います。

(非常時にも「免許を受けていない無線設備」を運用することは法律違反です。念のため。)

我々を取り巻く状況が変化する中で、旭区支部として何が出来るかを皆で考え行動して行きたいと思います。

今年が皆様にとって良い年となるようにお祈りします。

鈴木忠彦 JA1DXQ

新入会員のお知らせ

10月4日 野口 浩さん (市沢小学校)
12月2日 JG1QHH 石川 義則さん (左近山第一小学校)
12月19日 須賀 伸海さん (新井中学校)
2011年1月10日現在旭区支部会員数が105名となりました。

非常通信協力も然る事ながら、国内外との無線通信、無線機器製作など幅広く活躍していきましょう。

発行、編集、旭区支部事務局